

# ロンドン滞在とカンタベリー大聖堂の旅

ご旅行期間とご旅行代金

2027年 3月1日(月)発～3月8日(月)着…¥748,000

お一人部屋利用追加料金 ¥110,000



ビッグベンとウェストミンスター宮殿(イメージ)



タワーブリッジ



バッキンガム宮殿

## ツアーのポイント

- ロンドン市内にたっぷり5連泊します。
- ロンドン郊外に位置する3つの世界遺産 **バース、ストーンヘンジ、カンタベリー**にも足を延ばします。
- 専用車、電車、地下鉄(チューブ)、二階建てバス(ダブルデッカー)、フェリーを利用して多角的に観光をお楽しみいただきます。



カンタベリー大聖堂

## 歴史と信仰が息づく町・カンタベリー

カンタベリーは、イギリス南東部ケント州に位置する歴史ある都市です。イングランドのキリスト教において非常に重要な位置を占め、英国国教会の総本山であるカンタベリー大聖堂があることで世界的に知られています。ロンドンからの日帰り旅行も可能で、電車で約1時間とアクセスも良いです。

6世紀末、修道士アウグスティヌスがブリタニア伝道に赴き、ケント王エセルバートの協力を得て布教の拠点となりました。アウグスティヌスは初代カンタベリー大司教に就任し、以来カンタベリーはイングランドのキリスト教の中心であり続けています。

1173年にカンタベリー大司教トマス・ベケットが暗殺された後、彼はローマ教皇によって列聖され、カンタベリーは「カンタベリー詣で」と呼ばれる巡礼地となり、多くの巡礼者が訪れるようになりました。ジェフリー・チョーサーの「カンタベリー物語」でも描かれています。

ヘンリー8世が離婚問題をきっかけにカトリックと絶縁した際も、カンタベリー大司教は国王の離婚を許可する独自の判断を下し、ローマ教会から事実上分離しました。

630年までには金貨が製造されるなど栄えましたが、842年と851年にはバイキングの襲撃で大きな被害を受けました。1348年の黒死病流行で人口が減少するなど、イングランドの波乱の歴史の中でも、カンタベリーは大司教座のある町として権威を高めてきました。

1988年、「カンタベリー大聖堂、聖オーガスティン修道院及び聖マーティン教会」の一部として、ユネスコの世界遺産に登録されています。特に、カンタベリー大聖堂の東部のデザインと初期のステンドグラスは、人類の創造的傑作として評価されています。大聖堂内に存在する数々の美しいステンドグラスは、非常に印象的で、ウィリアム・モリスが「天国への扉が開かれたようだ」と表現したほどです。ベケットの生涯を描いたものも有名です。

ロンドンとは異なる田舎町の雰囲気があり、歴史と自然が融合した魅力的な都市カンタベリーの滞在をお楽しみください。



## 神秘のパワースポット・ストーンヘンジ

ストーンヘンジは、イギリス南部のソールズベリー平原に位置する、先史時代に造られた謎多き巨石遺跡です。1986年にはストーンヘンジ、エイヴベリーと関連する遺跡群「の一部として、円形に並べられた巨石や祭祀・埋葬の痕跡など、先史時代の高度な創造力と技術が認められたため、ユネスコの世界遺産に登録されました。

ストーンヘンジは円陣状に並んだ直立巨石とそれを囲む土壁からなり、高さ4～5mの30個の立石(メンヒル)が直径約100mの円形に配置され、その内側には高さ7mほどの巨大な門のような形をした組石(トリリトン)5組が馬蹄形に配置されています。中心部には、比較的小さな「ブルーストーン」と呼ばれる石も使われています。

紀元前3100年頃から紀元前1100年頃にかけて、数百年から1500年程の月日をかけて段階的に作られたと推定されています。最大のものは35トン以上もある「サーセン石」と呼ばれる砂岩の一種で、ストーンヘンジから北約30kmのマールバラ丘陵から運ばれてきました。前述したブルーストーンは、西へ240km以上離れたウェールズのプレセリの丘から運ばれたことが判明しています。

「太陽崇拜の祭祀場」「古代の天文台」「墓地・儀式の場」「宗教的な聖地」など様々な説が唱えられており、いまだ明確な結論は出ていませんが、夏至の朝、環状列石の外にあるヒールストーン付近から太陽が昇り、中心部を照らすように配置されていることから、石の配置には天文学的な意味があると考えられています。また、埋葬跡が多数見つかったことから、墓地であったという説も有力です。

ストーンヘンジは、その巨大な建造物と、いまだ解明されていない目的から、「世界最大級の先史時代ミステリー」として、今もなお多くの人々を魅了し続けています。

## ご旅行条件

- 募集人数/12名様
- 最少催行人数/**7名様**
- お食事/朝食5回・昼食4回・夕食5回
- 旅券残存期間/出国時3ヶ月以上
- 千歳空港利用/¥4,800(別途必要)
- 昨今の燃油価格上昇につき、燃油サーチャージは含まれておりません。別途徴収させていただきますので、何卒ご理解くださいませ。**
- ETA(欧州渡航情報認証制度)取得料・同取得手数料/¥9,900
- パスポートコピー/カラー1枚要
- 査証用写真/1枚要[4.3cmx3.5cm・カラー・背景:白色]
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- 国際観光旅客税[出国税]/¥3,000(別途必要)
- トランク往復無料託送サービス

[ご自宅～空港～ご自宅]  
※ビジネス料金はお問合せ下さい。  
※教会等の宗教施設は現地事情により入場できない場合がございます。

## ご利用予定ホテル

- ロンドン/ホリデーイン・ロンドン・ケンジントン・ハイ・ストリート、コブソーン・トラホテル・ロンドン・ケンジントン
- ※上記ホテルまたは同等クラスとなります。

|   | 都市名         | スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地                                                                                                                                                                                                                                                |
|---|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 千歳<br>香港    | スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港<br>■午後、千歳空港より、キャセイパシフィック航空にて、香港空港へ[16:00発／20:55着]。<br>■深夜、キャセイパシフィック航空を乗継ぎ、ロンドン・ヒースロー国際空港へ[23:00発]。✕✕✕[機中泊]                                                                                                                                  |
| 2 | ロンドン<br>バース | ■朝、ロンドン・ヒースロー国際空港到着[05:25着]。<br>■入国審査ののち、専用車にてかつてはイギリス最大の温泉保養地だった <b>世界遺産バース</b> へ。着後、2000年の歴史を有する <b>ローマ浴場</b> 、黄色いバース・ストーンが印象的な <b>バース寺院</b> 、映画「レ・ミゼラブル」にも登場した <b>パルトニー橋</b> へご案内します。<br>■午後、円形に並べられた巨石群が印象的な、神秘的な <b>世界遺産ストーンヘンジ</b> を訪ねます。<br>■夕刻、ロンドンへ。      |
|   | ロンドン        | ✕✕✕[ロンドン泊]                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3 | (カンタベリー)    | ■午前、鉄道を利用し、 <b>宗教都市カンタベリー</b> へ。着後、イギリス国教会の総本山・ <b>世界遺産カンタベリー大聖堂</b> 、 <b>カンタベリー博物館</b> 、チューダー朝の建物が立ち並ぶ <b>メインストリート</b> の散策をお楽しみください。                                                                                                                              |
|   | ロンドン        | ■夕刻、鉄道にてロンドンへ戻ります。✕✕✕[ロンドン泊]                                                                                                                                                                                                                                       |
| 4 | ロンドン        | 2日間、公共交通機関を利用し、たっぷりとロンドン市内観光です。<br>■ <b>大英博物館</b> や <b>ナショナルギャラリー</b> をゆっくりと<br>■ <b>バッキンガム宮殿</b> で衛兵交代式を見学<br>■歴代のイギリス君主の戴冠式が行われてきた <b>世界遺産ウエストミンスター寺院</b><br>■イギリスと言えば、ターナー。ロンドン三大美術館のひとつ <b>テイト・ブリテン</b><br>■テムズ川を遊覧し <b>世界遺産ロンドン塔</b> へ。 <b>タワーブリッジ</b> も眺めます。 |
| 5 | ロンドン        | ※ご希望の方は、本場のパブへご案内します。また、実費にて <b>ウエストエンドのミュージカル鑑賞</b> へのご案内も可能ですので、ご相談ください。<br>✕✕✕[ロンドン泊]／✕✕✕[ロンドン泊]                                                                                                                                                                |
| 6 | ロンドン        | 終日、自由行動。ご希望の方は添乗員が実費にてロンドンの街歩きへご案内します。例えば…<br>■ハップバーンゆかりの <b>コヴェント・ガーデン</b> 、 <b>メイソン本店</b> の紅茶<br>■ビートルズゆかりの <b>アビー・ロード</b><br>■デザインと装飾芸術の分野を専門とする世界最大級の <b>ヴィクトリア&amp;アルバート博物館</b> へご案内します。<br>✕✕✕[ロンドン泊]                                                        |
| 7 | ロンドン        | ■朝、専用車にてロンドン・ヒースロー国際空港へ。<br>■午前、キャセイパシフィック航空にて、香港へ[11:00発]。<br>✕✕✕[機中泊]                                                                                                                                                                                            |
| 8 | 香港<br>千歳    | ■朝、香港到着[07:40着]。<br>■着後、キャセイパシフィック航空にて、千歳空港へ[09:10発／14:50着]。<br>■着後、入国審査ののち解散。<br>スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅<br>✕✕✕✕                                                                                                                                                    |

※上記の時間は、すべて現地時間で表示されております。  
※上記の「○」はお食事の有無を示します。「+」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。  
※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。

## 過去と現代、多様な文化が融合した、常に進化し続ける世界都市・ロンドン

ロンドンの歴史は、紀元43年にローマ帝国がテムズ川沿いに築いた「ロンディニウム」という交易拠点に始まります。現在のシティ・オブ・ロンドン(ロンドン旧市街地区)一帯がロンディニウムの中心部にあたります。ローマ人はここに道路、水道、公共浴場、神殿、劇場などを整備し、ブリタニア属州の行政・商業の中心として都市を発展させました。しかし、410年にローマ人が撤退し、都市は一時衰退しましたが、この時代の遺構は今もロンドンの地下から発見されることがあります。

1066年のノルマン征服は、ロンドンの歴史における大きな転換点となりました。ノルマンディー公ウィリアムはウェストミンスター寺院でイングランド王として戴冠し、王室の拠点をウェストミンスター地区に定めました。彼はシティの南東にロンドン塔を建設し、市民に権威を示すとともに都市の防衛を強化しました。ロンドン塔は、宮殿、牢獄、造幣局など、多岐にわたる役割を担ってきました。また、テムズ川の水運が発達し、ロンドンはイングランド王国の首都として、また北海商業圏の商業拠点として繁栄を享受しました。

18世紀以降の産業革命により、ロンドンは工業と貿易の中心地として大きく発展しました。イギリスの世界的な影響力が増すとともに、ロンドンは世界経済や国際政治の中心としての地位を確立しました。1884年には、ロンドン郊外のグリニッジ天文台を通る子午線が本初子午線として国際的に認定され、ロンドンは世界の時間の基準となりました。1863年には世界初の地下鉄が開通し、都市の拡大と市民の移動を支える重要な交通インフラとなりました。

ロンドンは、何世紀にもわたる戦争や紛争を経験し、大火や疫病、そして再建を繰り返しながら、常に進化を続けてきました。現在では、歴史的建造物と現代的な超高層ビルが共存し、多様な文化が融合する国際都市として、人々を魅了し続けています。バッキンガム宮殿やウェストミンスター寺院、大英博物館など、数多くの歴史的な場所やアトラクションがその豊かな過去を物語っています。